



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

第73回コロイドおよび 界面化学討論会へのお誘い

はじめに

第73回コロイドおよび界面化学討論会は、2022年9月20日(火)～9月22日(木)の日程で、広島大学・東広島キャンパスにて開催の予定です。昨年広島大学での開催を予定しておりましたが、2019年末に出現し世界的に広がった新型コロナウイルスの流行が終息せず、対面開催を順延しました。

東広島市は誕生して48年の新しい市です。1973年の広島大学の統合移転決定を契機に研究機関や先端産業などの集積が進み、国際学術研究都市に発展しました。町としての歴史は現県庁所在地の広島市よりも古く、5世紀前半に第1号古墳が作られた広島県内最大の三ツ城古墳群があります。8世紀には律令体制の下、政治の中心となる国府と国分寺が置かれました。かつての行政区画名であった賀茂郡は、この辺りが京都賀茂神社の荘園であったことに由来します。

主題:「異分野融合・学際領域として 拡がるコロイド・界面科学」

コロイド・界面系は気象、土壌、材料、食品等私たちの生活環境のいたるところに存在します。コロイド・界面化学はこれらを扱う実学において帰納的に発見された諸法則から演繹的に新たな法則や理論が導かれ、学問として体系化されました。今後も積極的な異分野融合により解決策を見いだそうとする研究展開がますます重要になるものと考えられます。そこで本討論会では、このような幅広い分野

に偏在する法則を体系化したコロイド・界面化学の学術的特徴の再認識とさらなる発展を期待し「異分野融合・学際領域として拡がるコロイド・界面科学」を主題として実施いたします。

討論会の概要

一般研究発表は、これまでのセッション分類を見直し、1. 界面活性剤と両親媒性物質、2. 分子膜、3. ソフトマターとバイオシステム、4. 微粒子・ナノ粒子・ナノマテリアル、5. 分散・凝集、6. 固体表面と濡れ・吸着・接着の構成です。一般シンポジウムは、討論会テーマを冠した「異分野融合・学際領域として拡がるコロイド・界面科学」、および「最先端電子部品にかかわるコロイド・界面化学」、「光学材料の新展開～界面由来の新規光学特性～」を「界面が織りなす生命性」を実施する予定です。国際シンポジウムも開催予定です。

若手研究者の発表には、例年どおり、ポスター賞、若手口頭講演賞が設けられます。多数のご応募を期待しております。

2日目午後にサタケメモリアルホールにて広島大学大学院教授 上野聡氏とドイツ ハイデルベルク大学/京都大学教授 田中求氏による総合講演および第74回日本化学会賞を受賞した物質・材料研究機構 有賀克彦氏による特別講演を予定しています。

科学奨励賞、技術奨励賞を受賞した若手の先生方による講演も行われます。今年度の受賞者は、科学奨励賞が産業技術総合研究所 久保史織氏および北海道大

学大学院 Mai Thanh Nguyen 氏、技術奨励賞が花王(株) 齋藤隆儀氏とライオン(株) 森垣篤典氏です。またコロナ禍のために招聘が叶わなかった過去2年間の Lectureship Award 受賞者のうち、ブルガリア ソフィア大学教授 Nikolai D. Denkov 氏とオーストラリア国立大学教授 Vincent S. J. Craig 氏(2020年度)およびオーストラリア メルボルン大学教授 Frank Caruso 氏(2021年度)の来日講演も現時点では予定しております。

さらに、例年行われております「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」や学生会員など若い世代の進路を考える「キャリア探セッション」なども併設して実施する予定です。

おわりに

新型コロナウイルスの流行状況によっては開催形態を変更する可能性がございます。詳細は、部会ニュースレター公告やホームページをご確認下さい。

https://colloid.csj.jp/202201/73rd_meeting/
<https://confit.atlas.jp/colloid2022>

口頭発表申込および要旨原稿締め切りは6月15日 正午、ポスター発表申込および要旨原稿締め切りは6月29日 正午(予定)で、広告・オンライン企業展示も募集中です。この機会に部会員以外の方も含め研究発表をご検討下さいましたら幸いです。

〔第73回実行委員長 ヴィレヌーヴ 真澄美
(広島大院 統合生命)、
討論会委員長 飯村兼一(宇都宮大 工)]

© 2022 The Chemical Society of Japan